

令和6年度 学校評価（年度末評価）

大田市立第三中学校

領域	重点目標	中期目標	評価指標	指標に関する評価	①達成状況 成果○と課題●、その他△	②来年度に向けて	③学校運営協議会委員の方より
学びに向かう力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着	生徒一人一人の特性に応じた細やかな指導	教職員肯定的評価80%以上(1-1) 生徒肯定的評価80%以上(1) 保護者肯定的評価80%以上(質問1)	A	○生徒の特性に応じた指導を行い、情報を共有することができている。	・生徒に関する気づきを教職員で共有できるように記録する。 ・生徒一人一人の発達段階や適応の状況、特性に応じて多様な学びの場を設定する。	
	思考力・判断力・表現力の育成	能力ベース型授業による主体的で深い学びの実現	教職員肯定的評価80%以上(1-2) 生徒肯定的評価80%以上(2) 保護者肯定的評価80%以上(質問2)	B	○生徒同士の対話的な活動ができている。 ○地域・外部の講師を招いての授業は生徒の考えを広げることに役立っている。	「主体的な授業」になるような授業改善の方法を提案する。(その中に、思考を促すツールとしてのICTの活用と、振り返りについても含めたい) 一年間の中に、計画的に地域・外部講師を招いた授業を配置する。	
		主体的・対話的な授業づくりを通じた授業改善	教職員肯定的評価80%以上(1-3) 生徒肯定的評価80%以上(3) 保護者肯定的評価80%以上(質問3)	A	●授業者自身は、主体的な授業づくりに課題を感じている。 ●講師を招いての授業は効果的である一方、授業時数等の関係から数を絞る必要がある。 ●ICTの活用		
		多様な他者との関わり(出前授業や外部講師との授業実践)	教職員肯定的評価80%以上(1-4) 生徒肯定的評価80%以上(4) 保護者肯定的評価80%以上(質問4)	A			
	学びに向かう力の育成	授業での「めあて」の明示と「振り返り」の徹底	教職員肯定的評価80%以上(1-5) 生徒肯定的評価80%以上(5)	A	○めあて、授業の流れ、振り返りを示し、生徒に見通しを持たせることができている。見通しを持つことで、生徒・教師ともにゴールを見据えて授業を作ることができる。	引き続き、見通しを持たせる授業を行う。	
	家庭学習の定着・習慣化	予習・復習が活かされる授業づくり	教職員肯定的評価80%以上(1-6) 生徒肯定的評価80%以上(6) 保護者肯定的評価80%以上(質問5)	C	○ミライシードを放課後学習に利用し、各教科のドリルを行い、さらに、家庭へ持ち帰り家庭学習でも利用した。	・各教科の課題を把握するためのホワイトボードは今後も活用したい。 ・ミライシードの活用は来年度以降も継続する。	自主的に家庭学習に取り組むには、取り組まなければならない必要性を感じないと自主的には取り組まないのではないのか。 家庭において、今、何をすべきかと考え、判断し、主体的に地域に貢献することや評価することも大切と考える。
		家庭学習の習慣化に向けた取組(見える化)	教職員肯定的評価80%以上(1-7) 生徒肯定的評価80%以上(7) 保護者肯定的評価80%以上(質問6)	C	●生徒の自主的な家庭学習としての習慣化は十分できたとはいえない。		
	図書館活用	学校図書館を活用した授業実践	教職員肯定的評価80%以上(1-8)	B	○学校司書・司書教諭を中心に、よい選書ができている。役立つ本、読みたい本を入れることができた。今年は特に、職員の皆さんに本を手にとっていただくことが増えた。	教科での活用例を年度初めや途中に紹介し、授業に取り入れやすい形を提案する。 国語の授業や課題と連動した読書活動を計画・実施する。	
		学校図書館利用の推進	教職員肯定的評価80%以上(1-9) 生徒肯定的評価80%以上(8)	A	●授業で活用しやすい教科、しにくい教科がある。 ●読書に興味をもってもらうための仕掛けや工夫、読書時間の確保などが必要。		
	自他を尊重し、多様な他者と協働できる生徒の育成	道徳教育の充実	計画的・発展的な指導の充実	教職員評価80%以上(2-1) 生徒肯定的評価80%以上(9) 保護者肯定的評価80%以上。(質問7)	A	○計画的な道徳教育が行われている	ローテーション道徳の実施について振り返りをおこない、よりよい形を検討する
学びの轍ファイルの活用した評価の工夫			生徒一人一人の考え方や心の変容がうかがえる資料を残すことができた。 教職員評価80%以上(2-2) 生徒肯定的評価80%以上(10) 保護者肯定的評価80%以上。(質問8)	A	●「学びの轍ファイル」を活用した評価の工夫ができているかは分からない		
人権・同和教育の充実		職員研修の推進	教職員の80%がB評価以上(2-3)	B	○教職員の肯定的評価が80%以上であった	・外部の方の講演等を通じて、人権感覚を磨く活動を行う	
		系統的な人権・同和学習を通じた人権意識の確立	教職員評価80%以上(2-4) 生徒肯定的評価80%以上(11) 保護者肯定的評価80%以上。(質問9)	B	○教職員、保護者の肯定的評価が80%以上であった ●生徒の肯定的評価が80%未満であった	・道徳を中心としたすべての教育活動の中で、他者との違いを認め合ったり尊重したりする姿勢の涵養に努める。また、磨かれた人権感覚が日常生活に生かしていける声掛け、活動を行う。	
		保護者・地域への啓発(人権集会・交流学習)	教職員の80%がB評価以上(2-5) 保護者の80%がB評価以上(質問9)	B	○教職員、保護者の肯定的評価が80%以上であった	・学校だよりや学級通信等を通じて、取り組み内容を知ってもらう	
学校行事や生徒会活動の主体的な取組	生徒会執行委員会を中心とした活動の充実	教職員評価80%以上(2-6) 生徒肯定的評価80%以上(12) 保護者肯定的評価80%以上。(質問10)	A	○逆算力を意識しながら活動していた。 ○行事後、生徒たちが達成感を味わうことができた。 ●毎月の振り返りの方法や、生徒たちが課題と感じていることを話し合う時間やそれを試すような時間的余裕がない	全校学活のような形で、各学年の学活(例えば個人の目標立てと振り返り)と生徒会活動(学校全体として改善したい点の話合い)を合わせたような活動を計画できないか相談する。		
地域貢献への取組	窯芸作品の制作	教職員評価80%以上(2-7) 生徒評価80%以上(13)	A	○意欲的に活動し、地域への感謝の思いを育てることができた。 ●活動の目的を生徒・職員全員で十分に共有し、意識して活動できていたか疑問。作って楽しい！だけにならない工夫が必要。	この活動を通して、生徒にどのような力をつけ、伸ばしたいのか。目的を確認し、それに準じた指導を行う。		
自らの生活を	キャリア教育の充実	職場体験や上級学校調べ、職業調べ等の実施	教職員肯定的評価80%以上(3-1) 生徒肯定的評価80%以上(14) 保護者肯定的評価80%以上(質問11)	B	○生徒の希望に沿った職場体験が実施できた。	学びの轍(キャリアパスポート)と各学期の目標・振り返りのリンクが意識できるようなシートの改善が必要。今年度は、学期の終わりに各担任がとる学校生活全体の振り返りのシートを全校で統一したので、それを改良して、使用するとよいのではないのか。 年度の最初に学びの轍について説明する時間を全校でとっている。そのときに、学びの轍の意味を生徒に分かるように伝える。また、目標立てをするときに、その妥当性を見てアドバイスをもらうためにも、この時間は続けていく方がよい。	自分らしい幸福な人生を送るためにも、ライフキャリア教育に取り組んではどうか。職業だけでなく、社会とのかかわりや父として、母としてなど、これからの時代を生きる生徒が、自分らしい豊かで幸福な人生を歩むことのできる力を育ててもらいたい。
		学校行事での自己目標の明確化と達成感	教職員肯定的評価80%以上(3-2) 生徒肯定的評価80%以上(15)	B	●残暑厳しい時期の職場体験は、移動、屋外実習などで熱中症のリスクが考えられ、時季を考慮する必要がある。 ○学校行事で達成感を味わうことができていない。 ●学びの轍(キャリアパスポート)と、各学期の目標立てや振り返りのリンクが実感できていない。		
		学びの轍(キャリアパスポート)の活用	教職員評価80%以上(3-3) 生徒肯定的評価80%以上(16)	B	●各学期の目標があまり意識されていないのではないのか。		

コントロールできる生徒の育成	セルフコントロール力の育成	規則正しい生活習慣の定着・意識の向上	教職員評価80%以上(3-4) 生徒肯定的評価80%以上(17) 保護者肯定的評価80%以上(質問12)	C	○生徒の生活実態を把握したうえで、様々な視点から多様な取り組みを行うことができた ○粘り強く関わることができ、生徒の意識改善等に取り組むことができた ●時間がたつと意識が薄れ、生活習慣が乱れてしまう ●意識づけはできているが、行動の変容には結び付いていない ●生徒の認識と保護者の認識に差異がある	・保護者に実態の周知を図る(認識のずれをなくす) →期末懇談等で説明、周知 ・生活習慣の改善には保護者の協力が必要不可欠である。 ・記録→反省→改善→記録のサイクルを保護者の協力のもと行う。 ・同じ内容のことであっても、定期的に話をして意識づけを図る必要がある。(外部講師による講演会等)	子どもと保護者では認識の差が生じることもある。しっかりと話し合う場をもつことが理想である。また、生活習慣の定着もしくは改善には、時間がかかる。幼少期からの積み重ねが大切であると考え、保育園(幼稚園)と小学校、中学校の縦のつながりを強化し、時間をかけて取り組むとともに、保護者・地域と連携して取り組むことが大切である。
	一人一人の生徒理解を基盤とした生徒指導の充実	一人一人の生徒理解を基盤とした生徒指導の充実	教職員評価80%以上(3-6) 生徒の80%がB評価以上(18) 保護者肯定的評価80%以上(質問13)	A	○教職員、生徒、保護者すべてにおいて肯定的評価が高かった	・生徒の不安感や悩みに対してアンテナを高くし、早期の発見・適切な手立てに努める ・積極的な生徒指導(未然予防)に努める	生徒が少ないという理由もあるが、個別対応を丁寧に行っているため、継続していただければと思う。
		指導体制の確立と共通理解による指導の充実	教職員の80%がB評価以上(3-7) 生徒の80%がB評価以上(19)	A			
規範意識の醸成	学校の決まりやルールを守った学校生活	教職員肯定的評価80%以上(3-8) 生徒の80%がB評価以上(20) 保護者肯定的評価80%以上(質問14)	A	○教職員、生徒、保護者すべてにおいて肯定的評価が高かった	・ただ守らせるだけでなく、決まりやルールの意義を説明し理解を図る		
地域に開かれたよりよい学校づくりの推進	学校教育目標の実践	学校経営の重点に基づく各分掌及び学年・教科経営	教職員肯定的評価80%以上(4-1) 保護者肯定的評価80%以上(質問15)	A	○PTA総会等様々な場面で、学校経営の重点を説明、教職員もそれを意識した取組を行うことができた。	今年度同様、PTA総会や学校運営協議会等様々な場面で、学校経営の重点を説明するとともに、職員会議などで共有し、教育実践等につなげる。	学校評価の評価指標は、生徒・保護者が少ないため、一人違うだけでも大きな影響がある。評価指数は大切ではあるが、それにとらわれず、じっくりと教育実践を行ってほしい。
	情報発信	HPや学校便りによる保護者、地域への情報発信、学校図書館の開放	教職員評価80%以上(4-2) 保護者肯定的評価80%以上(質問16)	A	○学校だよりやHP等により、学校行事や教育活動について丁寧に発信することができた。 ●地域に学校図書館を開放していることを文化祭等で発信したが、利用が増えることはなかった。	学校行事やHP、学校だより等で学校図書館を開放していることを伝えるとともに、まちづくりセンターでも発信を行う。	
	教育環境の整備	施設設備の保全	教職員肯定的評価80%以上(4-3) 生徒肯定的評価80%以上(21)	A	○年間5回の設備点検を実施。担当者が丁寧に点検を行い、異常がある場合は、随時対応し、必要に応じて、教育委員会へ報告することができた。	今年度同様来年度も、定期的に安全点検を行い、安心安全な学校環境づくりに取り組みたい、未修理箇所についても、引き続き委員会へ報告し、修繕を行いたい。	
			教職員肯定的評価80%以上(4-4)	A			
		教材費の適切な保護者負担	教職員肯定的評価80%以上(4-5) 保護者肯定的評価80%以上(質問17)	A	○一人一人が保護者負担や教材費購入について、予算と関連して考えることができた。少人数であるために一人あたりの負担額が大きくなることもあるので相談しながら教材選定や購入をすることができた。	保護者負担で購入している教材を公費で購入できるかどうか引き続き検討するとともに、保護者負担教育費調査や教材費評価も参考にしながら購入が必要かどうか継続的に考えたい。	
	地域との連携	地域行事への積極的な参加	生徒肯定的評価80%以上(22) 保護者肯定的評価80%以上(質問18)	A	○学校行事や地域の方を講師として行った授業を通して、生徒の地域への興味・関心は高まっている。 ●時期によって、通常の授業が少ないことがあり、学習の進捗が遅れがちになることもある。	めざす生徒像の実現に効果的な授業、行事は何かといった視点で、行事や授業の精選を行う。授業時数を確保する。	今後も、保護者、地域の一員として、学校に協力、支えていきたい。生徒の生の声を、そして、対話の中から生徒のチャレンジを支える取組を行いたい。
教職員肯定的評価80%以上(4-6) 保護者肯定的評価80%以上(23) 生徒肯定的評価80%以上(質問18)			A				
教職員肯定的評価80%以上(4-7) 保護者肯定的評価80%以上(質問19)			A				
危機管理体制の確立	危機管理能力の向上	教職員肯定的評価80%以上(4-8) 生徒肯定的評価80%以上(24)	B	○校内研修を定期的に行うとともに、朝礼時などを利用して服務規律の徹底に務めることができた。 ●避難訓練に生徒はまじめな態度で臨み。整然と動くことができた。しかし、生徒のアンケートからは、冷静な行動ができると思う生徒は多くなかった。	生徒が冷静に行動する力が身につけてきたと、実感することができるよう、関係機関と協力して訓練を実施したい。		
	服務規律の確保	教職員肯定的評価80%以上(4-9)	A				
業務改善の推進	勤務実態把握と業務の効率化・適正化	タイムカード・部活動報告による状況把握・改善	教職員肯定的評価80%以上(5-1)	A	○時間外勤務時間の多い教職員は少ない。また、教職員アンケートなど、フォームを使った集計も見られ、少しずつではあるが、校務DXも進んでいる。 ●地域との関係が密であり、地域と連携して実施する行事や授業も多い。	めざす生徒像の実現に効果的な授業、行事は何かといった視点で、行事や授業の精選を行う。事前に、行事予定表等へあげ、必要時数を把握しておく。	夜、学校の前を通りかかると、明かりがついていることも多い。地域との連携の一環として、地域行事への参加をお願いすることも多いが、教職員の方々も、家庭と仕事の両立を実現してほしい。そのためにも、部活動など、地域でできることについては、地域への移行が進めばと思う。
		会議や学校行事の精選	教職員肯定的評価80%以上(5-2)	C			
		校務DXの推進	教職員の半数以上ができた(5-3)	A			
	部活動運営方針の徹底	部活動運営方針に沿った活動の実施	教職員肯定的評価80%以上(5-4) 生徒肯定的評価80%以上(25) 保護者肯定的評価80%以上(質問20)	A	○教職員、生徒、保護者すべてにおいて肯定的評価が高かった	・ガイドラインに沿った部活動経営方針、年間計画のもとで活動を行う ・地域の人材を活用し、生徒にとって有意義な活動を行う	
教職員肯定的評価80%以上(5-5) 保護者肯定的評価80%以上(質問20)			A				
校内サポート体制の整備	学年部会及び分掌部会の活性化	教職員肯定的評価80%以上(5-6)	C	●定期的、必要に応じて学年部会を行い、情報の共有・方針の確認を行っていたが、分掌部会については十分に行うことができていない。	職員会議のない月曜日の放課後などの時間を有効的に活用し、分掌部会を計画的に行い、活性化を図る。		
	メンタルヘルス対策	教職員肯定的評価80%以上(5-7)	A				